

光が丘第三中学校・光が丘夏の雲小学校・光が丘秋の陽小学校・光が丘第八小学校

中学校区の特徴

- ・新たに編成されてから 7 年が経ち、編成区域にも慣れてきた
- ・基本的な生活習慣と学習習慣を大切にする地域である。
- ・学びに対する期待の高い地域である。

目指す 15 歳の姿

- ・基礎、基本の学習を身に付け、自ら考え実行する生徒
- ・自他ともに理解し、規範意識をもって行動しようとする生徒
- ・心と身体を鍛え将来への夢や希望をもつ生徒

1 小中一貫教育の取組プログラム

知・徳・体を柱とする「目指す 15 歳の姿」の実現に向けて、学年別取組プログラムを検討し、作成した。児童・生徒の発達段階や授業での指導などを加味して、どの授業でも実践可能な内容を目指した。

| 小中一貫教育の取組プログラム |                                        |                               |                                   |
|----------------|----------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|
|                | 知                                      | 徳                             | 体                                 |
| 中学校<br>3 年     | 基礎・基本の学習を身に付け、自ら考え実行できる力を育てる。          | 自他ともに理解し、規範意識をもって行動できる力を育てる。  | 心と身体を鍛え、将来への夢や希望がもてる力を育てる。        |
| 中学校<br>2 年     | 基礎・基本の学習から身に付けたものを生かして、自ら考える力を育てる。     | 自他の理解から、正しく適切な判断ができる力を育てる。    | 心と身体を整え、自己を認め、自分の価値を認められる力を育てる。   |
| 中学校<br>1 年     | 基礎・基本の学習を身に付けるために、日々の家庭学習をしっかりと定着させる。  | 自分と他者を、幅広く偏らずに理解できるようにさせる。    | 豊かな心と健康な身体から、生き生きと生活していく力を育てる。    |
| 小学校<br>高学年     | 未知の事柄や人の話に興味・関心をもち、自分の考えをもって表現する力を育てる。 | 互いに認め合い、友達と協力して仲良く活動できる力を育てる。 | 意欲をもって運動し、目標に向かって工夫しながらやり抜く力を育てる。 |
| 小学校<br>中学年     | 未知の事柄や人の話に関心をもち、自分の考えを広げる力を育てる。        | 互いに認め合い、友達と協力して活動できる力を育てる。    | すすんで運動し、目標に向かって頑張る力を育てる。          |
| 小学校<br>低学年     | 知らないことや人の話に関心をもって、考えることができる力を育てる。      | 友達と仲良くいっしょに活動できる力を育てる。        | すすんで運動に取り組み、頑張る力を育てる。             |

2 今年度の取組日程

| 日程             | 取組内容                                  |
|----------------|---------------------------------------|
| 6 月 3 日 (水)    | 校区別協議会① 光が丘第三中学校                      |
| 6 月 9 日 (火)    | 学校説明会・部活動見学                           |
| 9 月 16 日 (水)   | 校区別協議会② 光が丘夏の雲小学校                     |
| 10 月 20 日～22 日 | 夏の雲小学校挨拶運動 光が丘第三中生徒会夏の雲小学校校門前にてあいさつ運動 |
| 2 月 13 日 (土)   | 夏雲フェスティバル 光が丘第三中学校ボランティア参加予定          |
| 2 月            | 各校に今年度の成果・課題を報告・共有                    |

3 目指す 15 歳の姿の具現化に向けた取組

「目指す 15 歳の姿」の実現に向け、6 月 3 日 (水) および 9 月 16 日 (水) に校区別協議会を行い、「指導の重点と目指す姿との関わり」について研究を深めた。6 月は光が丘第三中学校、9 月は光が丘夏の雲小学校において、授業公開および教科ごとの分科会を設定し、検討を重ねてきた。

6 月は、教科ごとの重点と中心課題を検討し、小学校・中学校での授業改善・指導の充実を図ることとした。9 月は、小学校と中学校の授業から、重点目標の具体的な課題と指導の改善・工夫について検討した。

| 分科会 | 実施したい「目指す 15 歳の姿」に向けての具体的な取組 ○取組 ◇成果や課題                                                                                           |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語  | ○語彙力を増やすことで、表現する力を育てる。<br>◇語彙を増やす活動を継続して行うことで授業では活用力が高まったが、日常生活に生かすことはまだ難しい。<br>◇話の聞き手側も、話し手の伝えたいことが、課題に沿っているのか評価する力を付けることが必要である。 |
| 社会  | ○社会的事象を身近な出来事と関連付けて、考察できる児童生徒を育成する。<br>◇都道府県の位置や主な特色を知識として定着させていく必要がある。<br>◇身近な場所や事象との関連付けが難しい。                                   |

|        |                                                                                                                                                                                                       |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 算数・数学  | <p>○必要に応じて途中式を記入し、考え方や計算の過程をまとめる力を付ける。</p> <p>○数字やアルファベットを丁寧に記述することを心がけ、書き方・書き順・丁寧さを徹底させる。</p> <p>◇自分の考えが分かるように文章で表現することができた。</p> <p>◇「式は算数の言葉」を意識して、式で自分の考え（思考の流れ）を説明できるようにしていく。</p>                 |
| 理科     | <p>○「基礎的な実験技能を身に付けている児童・生徒」を育成する。</p> <p>○友達の見解も参考にしながら、習得した「自分の考え」を広げたり、表現したりする。</p> <p>◇実験や活動を通して基礎的な知識・技能を身に付けられるように指導した。</p> <p>◇実験や考えをまとめる際には、積極的に意見交換を取り入れ、見方や考え方を広げることができた。</p>                |
| 音楽     | <p>○指揮や伴奏ができる児童・生徒を育成する。</p> <p>○9年間を通し、基礎的な楽典の知識理解を発達段階に合わせて継続的に習得させる。</p> <p>◇伴奏ができる児童が年々減っている。中学校でも行事のあり方を考えていく必要がある。</p> <p>◇音符に対する知識や理解を高めていく必要がある。</p>                                          |
| 図・美・技家 | <p>○中学校の作品写真を小学校で掲示する。</p> <p>○タブレットを使用した作品鑑賞や、作品制作について活用していく。</p> <p>◇小学校の図工・家庭科で学んだことを発展させていくイメージをもつことができた。</p> <p>◇9年間の学習の積み重ねにより、さらに他者理解ができる姿勢を育てていく。</p>                                         |
| 保体     | <p>○運動能力を向上させる。</p> <p>○個人の目標を明確化させる。</p> <p>○体育や運動に前向きな姿勢で取り組ませる。</p> <p>◇授業の導入で、基礎的な動きを取り入れることで個人の力を伸ばすことができた。また、成功体験を重ねることで前向きに取り組める児童が増えた。</p>                                                    |
| 英語     | <p>○体を使って歌ったり話したり楽しみながら会話をする学習を継続して行う。</p> <p>○インプットを通して表現力を高めるため、語彙力を付けている。その際、話したり書いたりできる言葉と、聞いたり読んだりできる言葉を分けて、長いスパンで繰り返し使わせることで習得を図っている。</p> <p>◇ゲームやアクティビティ等のインプットを通して、語彙力や表現力を身に付けることができていた。</p> |
| 養護     | <p>○子供自身が自分の症状を話すまで、急かすのではなくしっかりと待つ。</p> <p>○5W1Hの項目に沿って伝えることができるように、一緒に話す。</p> <p>◇中学校に向けて、特に高学年は簡単な処置は自分でやらせている。</p> <p>◇保健室でのマナーを中心に、自分の言葉で症状が伝えられるようにしている。</p>                                    |



部活動見学の様子



職業体験(夏雲小)



あいさつ運動

#### 4 今年度の成果と今後の方向性

「目指す15歳の姿」の柱となる知・徳・体の9年間を通した取組プログラムを実施し、問題点や課題、成果を共有し、教科ごとに「目指す15歳の姿」の実現に向けた手だてを進めることができた。

また、昨年度に引き続き、3校の小学6年生児童を対象に中学校の学校説明会と部活動見学を実施した。学校説明会では、生徒会を中心に中学校の1年間の流れや行事について、パワーポイントを使用した上映や説明を行い、中学校での生活について紹介を行った。部活動見学会では、小学校を学校別、クラス別の6グループに分け、1グループ15分の見学を6会場で行った。6年生児童が中学校を知るよい機会になったため、来年度も生徒による学校説明会や部活動見学を継続して行いたい。

小中合同であいさつ運動を行い、小学生は、中学生の場に応じたあいさつをする姿を見て、社会的礼儀やマナー等を学び、地域の一員としての自覚と意識を高める機会とした。また、中学生においては、責任感や規範意識の向上につなげるとともに、相手意識をもってコミュニケーションを図る力の高まりを期待している。この活動を通し、今後も小中一貫したあいさつ文化を形成していきたい。